



# 大千住マップ

スタンプラリー付  
スタンプを集めながら、千住を歩こう。遊ぼう。

2019 Adachi City How to walk in Tokyo City with Adachi City & Stamp Rally

足立区

## 遊び方

## 千住の遊

便利な駅ビルはもちろん魅力だけど、駅ビルの外側に、面白い千住がある。江戸から始まる宿場の独特な歴史の上に繁栄した、明治大正昭和の姿も見え隠れする、現代の千住。東京のほかのまちとは一味違う千住に、一步踏み込んで、遊んで見ませんか。

### 2つのSを楽しむ

「S」は「Sakaba」と「Sento」の頭文字。千住には「酒場」と「銭湯」の両方がある。この2つを同時に楽しむのが千住の魅力だ。

**銭湯 入浴料金**  
大人470円/中・高校生300円  
小学生180円/乳幼児80円  
※2018年11月現在

毎月第1・第3土曜日は「家族ふれあいの日」  
【小・中学生と親が一緒なら】  
大人・中学生370円/小学生100円/乳幼児無料

「家族ふれあいの日」以外は「あだち子育てひろば」が使える

銭湯の入り口から見える山景色は、千住の魅力の一つ。お風呂に入る前に、山を眺めながらお風呂に入るのが、千住の楽しみ方だ。

## 建物を楽しむ

千住の魅力は、江戸時代から近年までのいろいろな建物がモザイク状に散らばっていること。再開された古い建物も、増えつつあるが、古い建物を使っていくと、また深みが出てきます。古くは、建築家で千住にえまち主宰の山崎たくさん、同文で日本工業大学教授でもある佐々木誠さん。

江戸の空気を感じる。江戸時代の川柳にも詠まれた骨つき名医、名倉医院。独特な治療と腕の良さで、大江時代には1日1630人來診との記録も残るほど患者が押し寄せた名医だった。周辺に5軒の宿屋があり、宿屋の主人が接骨師の資格を持ち、患者を入院させ治療する独自のシステムがあったという。ときには落語や浪花節などの芸人が宿に來て入院患者を楽しませたという。

魅力の建物たち。都心に近く、農村地帯とも隣接していた千住には江戸時代から、今でも再生紙を扱う「地漉紙(ずしかみ)問屋」が多く、流通の要となっていたという。往時をしのはせるのが、横山家と下村家。荷物を運び込む1階の空間を大きくとるため、



1848年(嘉永元年)から昭和40年代まで使われてきた診療室(通常非公開)。長屋門も残り、千住のまちの財産だ。名倉医院/千住 5-22-1 ☎03-3888-7711

佐々木誠さん

### 千住は宿場町だった!

江戸時代の千住は、江戸四宿の1つでした。四宿は、江戸から地方へ延びる街道の最初の宿場町で、旅に出る人にとっては旅立ちのまち、江戸の人にとっては近郊の遊び場として賑わいました。

千住宿  
は品川宿  
や内藤新  
宿より人  
口や家数  
も多く、  
宿屋より  
むしろ商家の多いまちとして賑わい、旦那衆が芸術家を支援した、ちよと料なまちだったようです。

### 明治期から昭和初期

おせんじゅ  
大千住って?

若いころ千住に暮らした森岡外の著書の中にもある「大千住」という言葉は、明治期から昭和初期まで使われたようです。「大千住」

### そして今...

5大学  
がそろい、  
抜群の交  
通の便の  
良さとお  
シャレな駅ビル、賑やかな商店街と充実した飲み屋街、その一方で無数の静かな路地と雄大な荒川の川辺。新しいものと古いものが絶妙に入り混じる。東京の東側のちよとイイまち、千住。宝さがしに、歩いてみませんか?

の呼び名は宿場町時代の繁栄がその後も続いたことを伝えています。このマップでは、その「大千住」と呼ばれた隅田川より北側の千住を紹介しています。

### 古い趣きのある銭湯と最新設備の銭湯の両方

銭湯の、寺のような外観は、実は東京周辺に集中している。というも、関東大震災で多くを焼失した東京で、ある宮大工が銭湯建設の依頼を受けたのがきっかけ。自分の技術を生かしてこれまでにない銭湯を建てて東京を元気づけようと思ったという。仕上がった宮造りの銭湯は人々を驚かせ、評判を呼んだ。おりしも復興期の様式を真似たといふ。

千住の銭湯でもこの重厚な宮造り様式が楽しめる。一方で、プールのある銭湯や新しいモダン銭湯も。

そんな、我がまちの財産を、楽しまないのはもったいない!

### 千住の酒場

北千住駅西口を出て左。細長く伸びる通称「飲み屋横丁(飲み横)」や、昭和30年代の香りを残す「毎日通り飲食店街」...いくつかの印象的な老舗の飲み屋街はもろんだが、このころ、若い世代が飲み飲食店が増えた。若い世代ならではの飲み料理へのこだわり、空間づくりも魅力。新旧入り混じる飲み屋街の風景は、千住の縮図のよう。千住の酒場が今、オモシロイ!



アーバン東京・上野 北千住 千住 4-20-10 ☎03-5284-9970  
1人1泊 9,600円〜/北千住駅から徒歩3分のビジネスホテル

ホテルコグラン北千住 千住 3-40-2 ☎03-5284-1155  
シングル1泊 8,200円〜/女性やファミリーのご宿泊も大歓迎!

福水旅館 千住 3-52 ☎03-3881-4001  
1人1泊 3,800円〜/駅に近い好立地なのにお風呂も手ごろで清潔

## 路地を迷う

千住をほぼ南北に貫く旧日光街道周辺は、江戸時代は宿場町として栄え、今、商店街として賑わう。間口に対して税金が課されていたため、間口が狭く、奥に長い町割がつけられた。街道に面して店、その奥に住居、蔵という並びの商家が多い。さらにその奥に買家をつくれるようになり、路地が増えつつあったという。

路地を歩くと、「こんなところには」と思わせる魅力的な店や蔵が出現することもある。千住の路地では発見が多い、知られざる迷宮をゆるゆると迷ってみたい。たしお住まいの方のご迷惑にならないよう、マナーを守って歩こう。



上/千住に電車が通っていた当時の電車の敷石等、再利用された石畳にもたびたび出逢う。右「柳原エリア」には今も数多くの雑電球(木デンプキ)が現役

千住町時代のマンホール

### 千住だけの名物を味わう

千寿ねぎのはなし  
日本にひとしかなかった長ねぎ専門の卸売市場が千住にあるのをご存知だろうか。この市場を通じては、「つまり目利きのねぎ商たちにより選び抜かれた千寿ねぎ」と呼ぶ。旬の冬場には格別旨い。

「さめか細かくてすしりと重いでしよう。薬味に刻めば少量でピリツと辛く香りよく、煮くずれないのに熱を加えずとトロリと甘くなん。おいしいのは、ねぎ商、葱茂、の安藤将信さん」と話すのは、ねぎ商、葱茂、の安藤将信さん。

### 千住名物 ねぎま鍋

江戸時代、庶民の食へ物だった「ねぎま鍋」が今、千住で静かな盛り上がりを見せている。何となく「千寿ねぎ」のまち。そして、都内唯一の水産物専門の市場、通称「千住の魚河岸」がある。その千住で育ちしかなない動き出したのが「千住魚河岸惣菜会」の面々。市場やまちなかのイベントで提供したりレン



千寿ねぎと生本マグロの大口部分などを使ったねぎま鍋を出す市場食堂。1人前 4,000円 雑炊付き(要予約) 市場食堂 さかなや/千住 4-11-6 ☎03-3881-4286

千住魚河岸惣菜会の渡井さんによると、ねぎま鍋はこのほか、「ちよふ台」(千住 3-17)でも食べられる。また、ねぎま鍋を進化させた「ねぎまそば/うどん」は足立市場の「たけうち」(千住橋戸町 50)で提供中。

古くは、建築家で千住にえまち主宰の山崎たくさん、同文で日本工業大学教授でもある佐々木誠さん。

山崎たくさん

select gallery & bar "baku" 千住旭町 21-10 ☎03-5284-7545

カフェわかぼ堂 千住 1-31-8 ☎03-3870-6766

八古屋 千住 4-23-1 ☎03-3881-6799

select gallery & bar "baku" 千住旭町 21-10 ☎03-5284-7545



千住の歴史や文化を発見しながらゆっくり歩いてみよう。10ヶ所のスタンプポイントを巡りながら歩くのもおススメ。スタンプを自由に押してイラストを完成させてね。スタンプを7個以上集めると、千住街の駅で記念品がもらえるよ!

(記念品の交換は1回につき1人1個) ※休曜日、祭事等でスタンプが押せない日もあります。ご了承ください。

### 閻魔様 (赤門寺)

千住を含む江戸四宿は江戸への入り口だから、それぞれ立派な閻魔様が庶民を見張って(?)おられる。千住では赤門寺(勝専寺)と金蔵寺、2ヶ所に鎮座。赤門寺では昔から続く、1月と7月の閻魔開き(縁日)で、お姿を拝める。

### 観光案内所 千住街の駅

大正期に建てられた、もと魚屋だった建物がお休みに。当時のショーウィンドウや色ガラスの意匠、関東大震災の後に建てられたと伝えられる「地震社」などが残る。マップやイベント情報などが入手できる。

### 富士塚 (大川町氷川神社) & (千住神社)

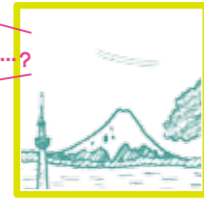
世界遺産登録で富士山が話題だが、千住には富士塚が3ヶ所ある。富士山信仰は江戸期に盛り上がりを見せ、直接行けない人のために、富士山から運んだ溶岩や土を埋め込んだ「富士塚」が各地に造られた。23区で4番目に古い大川町氷川神社の富士塚(1810年造)は、今でも自由に登れるほか、山開きの縁日も行われている。

### 矢立初めの芭蕉像

足立市場のそばに、筆を持つ松尾芭蕉の石像があり、近くにはベンチがある。千住は、芭蕉がおくへのほそ道へ旅立った地として知られ、いくつかの記念碑などもある。市場の食堂等は一般の人でも利用できるの立ち寄りやすい。

### 元宿堀記念碑

江戸時代、隅田川から引き込まれた水路がここにあり、元宿堀と呼ばれた。葛飾北斎の「富嶽三十六景 武州千住」は、この元宿堀の水門(元宿堀)から描かれたと推定されている。現地で北斎の絵を見ながら、当時の風景を想像してみよう。



少し足をのせば、今はスカイツリーが見えるかも?!

### かんかん地蔵 (安養院)

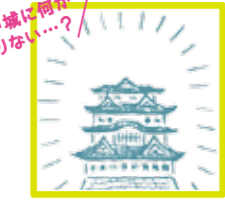
その呼び名の通り、かんかんと小石で打って折願すると願いがかなうと言い伝えられるお地蔵さま。元禄12年(1699年)に遭られたときから、打たれ続けてもとのお姿がすっかり変わってしまった。たくさんの願いを込めた人々の思いと時間を感じさせる。



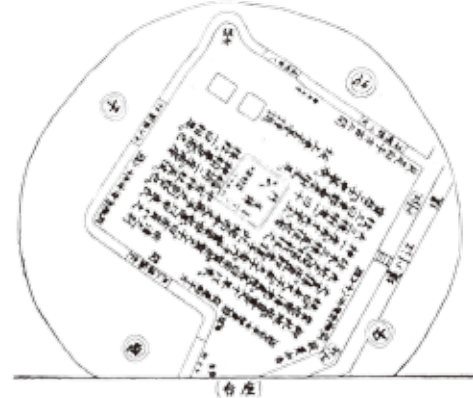
心をこめてお願いしよう

### 甲良屋敷跡

江戸幕府に仕えた大工の棟梁、甲良家が、寛文10年(1670年)にこの場所に別邸を建てた。現在、千寿常東小学校のあるあたり、一万坪の広さだったそう。甲良家は、江戸城、日光東照宮など、江戸期、大きな建築物を手がけたことで有名。



宝暦2年(1752年)につくられた石碑が千寿常東小学校内にあり、屋敷の図面が記載されている。学校施設内のため見学できませんが、資料を「千住街の駅」で差し上げます。



このマップには、千住街の主要な観光スポット、神社、公園、歴史的建造物などが紹介されています。1から19までの番号は、おもて面の紹介スポットを示しています。

### 柳原稻荷神社

路地と木デングキ(木の電柱につけられた裸電球)と商店街のまちなみを守る鎮守。「柳原」の名にちなみ、住民の手で植えられた柳の木がある。昭和8年(1933年)につくられた富士塚も(通常非公開)。柳原のまち歩きをベースにしたい。

### 柳原千草園

池のまわりに四季折々の草木がしげり、のんびり散歩できる公園。ベンチもある。もと製紙工場だった土地につくられた。数多くの植物が植えられていることから、「千草園」の名前に。線路が近いので、電車好きの子どもたちにも人気だ。

### 地図中の1~19はおもて面の紹介スポットです

マークは千住いまちのおすすめ情報ポイントです。

### 千寿七福神

縁起のいい七福神をぐるっと巡ると2~3時間。正月にはご朱印ももらえる

大千住 MAP & Stamp Rally  
2019年12月発行 第6版

発行/一般財団法人足立区観光交流協会 編集/協力/足立区広報室シテプロモーション課  
〒120-8510 足立区中央本町1-17-1  
問合せ先/ ☎ 03-3880-5853  
FAX 03-3880-5769  
(平日8:30~17:15)